

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
老人福祉論 Social Welfare for the elderly		2年	後期	月曜日 4時限
単位数	授業の形態	授業の性格		
2単位	講義	選択 (栄養士養成課程選択)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
中島 佳子	福祉棟 3階 研究室	月～木の授業以外の時間	授業中に指示します	
授業の概要				
わが国の高齢者保健医療福祉の変遷を理解する。高齢者の特性を理解し、高齢者をとりまく環境、制度、取り組みについて理解する。要介護高齢者について学び、要介護高齢者の実態、支援の内容と社会福祉専門職による高齢者支援を理解する。				
授業の到達目標				
①高齢者保健医療福祉の変遷を理解できるようにする。②高齢者の心身の特性を理解できるようにする。③高齢者を取り巻く環境、制度、取り組みについて理解できるようにする。④要介護高齢者について学び、介護の概念、理念について理解できるようにする。⑤介護保険制度とその支援内容について理解できるようにする。⑥高齢者虐待の実態や予防対策について理解できるようにする。⑦終末期ケアのあり方について理解できるようにする。				
授業の方法				
視聴覚教材を利用した講義方式で授業を行う。理解を深めるため演習を取り入れることもある。				
学習の成果				
①高齢者を身近な存在かつ自らの将来像としてイメージすることができる。②高齢者の生活環境・保健医療・福祉・介護の現状と課題を把握することができる。③介護保険制度、その他関連法規、各制度を理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業の進め方、教科書、留意事項、成績評価等の説明)			
第2回目	高齢社会の現状と課題 (過程・地域・環境・福祉・介護サービス) について			
第3回目	高齢者の心身の特性と支援について			
第4回目	高齢者福祉サービス制度の発展過程について①			
第5回目	高齢者福祉サービス制度の発展過程について②			
第6回目	少子高齢社会の動向と現状及び課題について			

第7回目	認知症について①症状の理解と支援	
第8回目	認知症について②ケアの実態と動向	
第9回目	介護保険制度の仕組みについて①	
第10回目	介護保険制度の仕組みについて②	
第11回目	高齢者虐待と虐待予防の取り組みについて①	
第12回目	高齢者虐待と虐待予防の取り組みについて②	
第13回目	終末期ケアとその対応について (レポート課題：提出は15回目の授業日)	
第14回目	高齢社会の今後の課題と対策について	
第15回目	まとめと試験	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	積極的に授業へ参加している。板書、発言をきちんと行う。授業理解を深めている。
レポート	10%	以下の事柄で評価する。レポート要領を遵守している。授業内で学んだ知識を踏まえ、自分の考えを述べている。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	70%	○×形式、選択方式、記述式を用います。
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書と参考図書：授業で指示します。		
履修上の心得・ルール		
私語・携帯電話の使用、授業に関係のないものの使用を禁止します。		